

事業名	食肉等流通合理化推進事業費		
細事業名	食肉流通合理化対策事業委託料	財務コード	195303
担当部課室	農政 部 畜産 課 畜産企画	担当 (内線)	5255

調書番号	86
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 H3 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に 生産者、流通業者	その対象をどのような状態にして 食肉の出荷・流通等に関する状況について、信頼性の高い情報を、手軽に入手することができる。	結果、何に結びつけるのか 食肉の流通・販売体制の強化
	内容 委託先: 岡山県食肉流通センター 委託内容: 肉畜及び食肉の流通に関する情報の収集及び整理、食肉流通に関する情報の提供		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
活動指標	情報報告回数	目標	12	12	12	12	12	12	
		実績(見込)	12	12	12	12	12		
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	ホームページアクセス数	目標	6,720	6,720	6,720	6,720	6,720	6,720	
		実績(見込)	4,500	4,500	4,500	5,700	5,400	5,700	
		達成率	67.0	67.0	67.0	84.8	80.4	84.8	
		達成区分	c	c	c	b	b	b	
決算(予算) 単位: 千円			514	514	496	496	496	496	505

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	HPアクセス数から、県内の流通実態等の情報が、生産者・流通業者等に有効に活用されていると考えられ、意図した成果はほぼ上げている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	畜産農家及び流通業者がこの情報を把握することで、出荷時期、価格等について適切に判断ができることで、成果向上が期待できる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )
その他	説明	
見直しの必要性	有	従来の月に一回のHP更新では情報が遅れてしまうことが課題となっていた。このため、更新頻度を上げることにより、最新情報を生産者・流通業者等がより有効に活用できるようになると考えられる。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

改善済み	説明	と畜頭数や格付成績等、出荷調整や価格安定化等への活用が可能となる一部の情報については、毎月更新時期を待つことなく週毎更新とすることで、情報量の絶対量や畜産課への報告回数を変えずに情報の鮮度を向上した。
------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。